

平成30年度事業報告

(概要)

平成30年6月に「人生100年時代構想会議」が取りまとめた「人づくり改革基本構想」において、「65歳以上への継続雇用年齢の引き上げに向けて環境整備を進める。」ということが掲げられ、70歳までの継続雇用が現実味を帯びてきました。シルバー人材センターにおいては、65歳まで雇用延長されたことで会員が減少傾向にあり、会員増に向け取り組みを行っていますが、継続雇用が70歳まで延長された場合に、どのような影響があるのか注視していくことが必要となっています。

一方、福岡県においては、「70歳現役社会」づくりを掲げ65歳を過ぎての継続雇用の促進、再就職支援、シルバー人材センターといった多様な就労支援など、高齢者がいきいきと働くことのできる仕組みづくりを進め、高齢者の就業を支援することとしており、シルバー人材センターには、高齢者の経験に裏付けられた知識や技能を活かせる臨時的、短期的な働く場を提供することで、生きがいづくりの確保や福祉の増進を図り、高齢者の能力を最大限に発揮できる生き生きとした活力ある地域社会づくりを目指し活動していくことが求められています。

このような流れの中で岡垣町シルバー人材センターにおいて平成30年度は、①会員増に向けた取り組み、②安全・安心な就業、③就業機会の確保を目標に掲げ取り組んできました。その結果会員増に向けた取り組みでは、平成29年度と同じ309名の会員数となりましたが、長い目でみると減少傾向にあります。安全・安心な就業では、平成29年9月に発生した重篤事故以来、無事故を続けていましたが、残念ながらその記録も358日で途切れてしまいました。就業機会の確保では、派遣就業において、請負から派遣への切り替えが1件、新規が2件となりました。請負においては、草刈作業において新たな受注を得ることができました。また、その他の就業についても新規発注がありました。このことから受託事業における収益は、昨年度派遣就業への切り替えが不調に終わったことで落ち込みましたが、今年度は回復してきており、経常収益は役職員及び会員皆様のご協力により、平成25年度から6年連続でプラスとなり、誠にありがとうございました。今後も引き続き健全な経営を目指していきます。

以下事業実績及び主要事業について報告します。

(実施計画に基づく事業について)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業・社会参加のための支援

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業 (一般)

高齢者の福祉の増進を目的に、地域に密着した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を請負もしくは委任により引き受け、職群班組織や毎月発行している事務局だよりを通して、公平な就業を提供してきました。また、新たな就業先の開拓のため理事長、事務局長とで町内の企業を訪問し新規就業をお願いしてきました。

① 平成30年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	千円
278	33,435	90.0	154,182

② 主な就業分野

職群別にみると一般作業群である草取り、草刈、清掃等が全体の55.6%となっており、続いて技能群である剪定、障子・襖の張替え等となっています。昨年度から開始した介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスAは、4件の依頼がありました。

契約金額では、公共事業及び公社公団からの受注が約58.9%を占めています。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供

1 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護に関する法律」に基づき、労働者派遣事業を実施しました。

① 平成30年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	賃金	事務費		契約金額
				連合会	センター	
人	人日	%	円	円	円	円
23	1,783	3.9	4,525,995	452,599	452,599	5,865,668

② 主な就業分野

給食運搬車の運転業務、レンタル用品の洗浄業務、料亭における食器洗浄業務及び配膳業務、民間保育所における児童の受け入れ業務

このうち、料亭における食器洗浄業務及び、配膳業務は新たに受注した業務、民間保育所における児童の受け入れ業務は、適正就業の観点から派遣へと見直しを行った業務です。

2 有料職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就業を斡旋する事業で、職業安定機関と連携し、雇用情報等の収集、情報交換を行うものであるが、利用者はありませんでした。

① 平成30年度実績なし

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1. 普及啓発事業

(1) 広報活動

平成30年度も、毎月1回岡垣町役場長寿あんしん課が開催する介護保険被保険者証交付会に合わせて、新規取得者にシルバー人材センター事業の紹介や入会について説明を行いました。また、岡垣町広報や郵便局の窓口封筒及び当センターの窓開き封筒を活用して、当センターの事業紹介や入会についての案内を引き続いて行いました。その他にも、西日本新聞、朝日新聞にスポット的に会員募集や就業依頼の広告を掲載、社用車8台の運転席及び助手席の側面を利用して「会員募集中」の案内表示を行いました。

次に、全国シルバー人材センター普及啓発促進月間に合わせて町内2か所のスーパーにおいて、役職員及び会員でチラシの配布を行い、広く住民に対して広報活動を行いました。

次に、本年度の当初計画では予定していませんでしたが、岡垣町の協力により、平成31年2月号広報に当シルバー人材センターの特集記事が掲載され、町民の方々に広く周知することができました。

(2) 社会参加活動

毎年5月と10月を「岡垣町シルバー人材センターの日」と定め、岡垣町役場庁舎周辺では2回の除草活動、海老津駅周辺では1回の清掃活動を実施しました。平成30年度は岡垣町役場の除草活動には合計で143名、駅

周辺の清掃活動には31名の参加がありました。その他にも一般町民と合同による焼酎岡垣の原料となる黄金千貫の植栽・収穫作業や三里松原内の松葉かきにも参加しました。

また、年末には草刈班を中心に2日間で延べ27名のボランティアにより、門松を作成して岡垣町役場、岡垣サンリーアイ及びいこいの里に合計5対飾り付けを行いました。

(3) 地域交流活動

毎年開催される「まつり岡垣」においては、当センターもパレードへの参加と出店をしています。平成30年度は好天の中実施されパレードには19名の会員の参加がありました。また出店については、新たに女性の会が「さるぼぼ」の置物、「スカーフ」「装飾品」の販売を行い盛況でした。また、いこいの里で開催された「子どもまつり」、岡垣町商工会が海老津駅前周辺で実施している「かぐや灯籠祭り」、岡垣町が実施している「人権講演会」、及び山田校区育成会や南山田区が行っている事業に参加し、バルーンアートの実演を行い、技術を習得した会員により子供たちとの触れ合いを行ってきました。

出張刃物研ぎサービスは、従事する会員が減少したことで、今年度は一度センターに持ち帰って刃物を研ぎ、再度持参するという方法に変更しました。自治区からの依頼はありましたが、実施方法の変更を伝えると成立しませんでした。個人からの依頼は16件ありました。

2. 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

安全意識高揚のため安全標語を募集し平成30年度は、「もう一度確かめる 心のゆとりが 事故防止」が最優秀作品となり、「事務局だより」に掲載するとともに、倉庫前に標語看板を設置し会員に周知しました。また、安全就業推進委員会が定めた、月々の遵守すべき事項について毎月発行する「事務局だより」に掲載し、倉庫前の掲示板にも掲示して、安全に対する意識付けを行いました。

毎年1月4日に高倉神社にて実施している「安全就業・健康祈願祭」においては、89名の参加があり、安全標語の入賞者（最優秀賞1名、優秀賞2名）へ表彰を行うとともに、会員の安全と健康を祈願しました。

安全就業推進委員会では、平成29年9月に発生した重篤事故を受けて、毎年9月を当センター独自の「安全就業強化月間」と定め、平成30年度は安全パトロールを3回、計10か所の就業先を訪れ、安全な就業を行っているかどうか確認し、指導を行うとともに安全就業啓発用ティッシュを配布し

ました。また、倉庫前や事務所カウンター付近にのぼり旗を掲げ、社用車全車に「強化月間」と書かれたマグネットシートを貼付し、役職員一丸となって安全意識の高揚に努め「事故ゼロ」を目指して取り組みましたが、残念ながら9月に飛び石事故が発生し、無事故記録も358日で途切れてしまいました。この結果、6月から11月までの繁忙期において、地域班単位で実施した「無事故コンクール」では、14班中13班の達成となりました。なお、達成した班には記念品を贈りました。



(2) 適正就業

シルバー人材センターでは、臨時的、短期的かつ軽易な作業を中心として、会員がローテーションにより就業をしています。今後もこのことを基本として様々な就業に従事することとします。

また、派遣就業については、請負よりも手数料の関係で受注金額が増えることから、就業依頼の話があっても発注者が躊躇し受注が得られない状況が発生していましたが、今年度は、1件が請負からの切り替え、2件が新規受注となりました。今後も適正就業の観点から理解を得られ受注できるよう引き続き努力していきます。

3. 相談業務

(1) 就業相談の実施

未就業会員の就業等についての相談や会員の悩みなどの個別相談を10月と2月の年2回実施し、2名の会員が相談に訪れました。

(2) 入会説明会の開催

毎月第3水曜日にいこいの里において説明会を実施し、平成30年度は48名の参加者がありました。

また、平成30年度は新入会員が28名ありましたが、退会者が28名であったことから、会員数は309名で昨年と同数となりました。

4. 研修・講習事業

平成30年度は、自動車の運転を仕事の中で行う会員の中から13名が、県シ連の実施する安全運転講習会に参加し、シートベルトの装着の必要性などを学びました。

子育て支援サービスの一環として取り組んでいるバルーンアートについて9

回の講習会を実施し、本人たちの技術の向上や新たな会員を募りました。

高齢者の交通事故が近年目立っており、当センターの会員においても車を運転する機会が多いため、会員の交通安全に対する意識高揚と就業中や就業途上における交通事故防止を目的として、折尾警察署交通課の協力のもと「高齢者向けの交通マナー」をテーマに、交通安全講習会を開催し51名の参加がありました。

会員が健康で生きがいを持って就業するためには、健康でなければいけません。そのため「転ばないための身体づくり」をテーマに健康講習会を開催し、40名の参加がありました。

「女性の会」は、6名から8名の女性会員により運営され、10回開催し交流を深めることができました。またまつり岡垣においては、初めての試みとして「さるぼぼの置物、スカーフ、装飾品」などを販売し盛況でした。

役員研修会を、熊本県水俣・津奈木シルバー人材センター及び八代市シルバー人材センターにおいて実施し、水俣・津奈木シルバー人材センターにおいては、「安全就業について」を中心に研修を行い、八代市シルバー人材センターにおいては、「会員拡大について」を中心に研修を行い、今後の当センターの活動の参考となる知識の習得に努めました。



5. 調査研究事業

第2次事業推進計画が平成30年度で終了することから、総務部会において第3次事業推進計画策定のため、4回の部会を開催して調査研究を行い、平成31年（令和元年）度から平成35年（令和5年）度までの5年間を目標に第3次事業推進計画を策定しました。

なお、第3次事業推進計画は全会員に配布することとしています。